

地域づくり活動 NPO 事業助成（先導的・先駆的）事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 学習支援ソサエティ命の根	代表者名	代表理事 大江 平治
事業名	新型コロナウイルス禍に翻弄され困窮した子ども等のサポート		

<事業実施実績>

年 月 日		活 動 内 容
6月	13. 20. 27日	児童観察とコミュニケーション・学力格差の是正の為の学習会
7月	4. 18. 25日	児童観察とコミュニケーション・学力格差の是正の為の学習会
8月	1. 22. 29日	児童観察とコミュニケーション・学力格差の是正の為の学習会
9月	5. 12. 19日	児童観察とコミュニケーション・学力格差の是正の為の学習会
	4. 10日	学校訪問
10月	3. 10. 17日	児童観察とコミュニケーション・学力格差の是正の為の学習会
11月	7. 21. 28日	児童観察とコミュニケーション・学力格差の是正の為の学習会
12月	5. 12. 19日	児童観察とコミュニケーション・学力格差の是正の為の学習会
1月	9. 19. 16. 22日	児童観察とコミュニケーション・学力格差の是正の為の学習会
	23. 30日	学校訪問
2月	6. 13. 16. 27日	児童観察とコミュニケーション・学力格差の是正の為の学習会
		学校訪問
3月	6. 13日	児童観察とコミュニケーション・学力格差の是正の為の学習会

<効果と成果>

コロナ明けの学校再開時の子どもたちは、例年と比較すると大きな違いがあった。2ヶ月遅れての登校で、入学・進学希望や夢が半減していた。この2ヶ月間の自粛で家庭での生活を余儀なくされた子どもたちに、コロナが突き付けた生活環境・学力の格差の課題は余りにも大きい。コロナの拡大によりストレスを抱える子どもの増加や生活苦となる家庭も増加してきている。

そこで本法人は、コロナに翻弄され困窮した子どもたちをサポートするため、子どもの現状の実態調査を始めた。学校を訪問し、授業参観・保健室見学を行った。その結果、昨年までと比較して、学級内でトラブルが増加していることや体調のすぐれない子どもの増加などがわかった。また、学習会に参加している子どもの学習意欲や集中力の低下などを把握した。これらの課題に対して、対処方法を考え模索しながら子どもたちの心のケアに取り組み、生活環境の向上のための支援に尽力している。

来年度は、今年の実態調査を基に臨床心理士や民児協とも連携しながら支援を拡充したい。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	400,000
事業収益等	689,980
会費等	59,000
合 計	1,148,980

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直接 経 費	謝金	795,000	280,000
	消耗品費	114,189	30,000
	印刷費	113,632	71,100
	その他(会場費、保険等)	37,800	18,900
	小 計	1,060,621	400,000
間接経費(一般管理費)		88,359	0
合 計		1,148,980	400,000